



Chapter 4

データベース／クイック アクションナビの公開

このチャプターでは、Chapter 2・Chapter 3 を通して作成したデータベースやクイックアクションナビなどを一般ユーザーに公開し、業務で利用できる状態にするまでの手順をご説明します。

フォルダー・データベース・関連要素・クイックアクションナビの公開設定の手順や、アクセス権にどのような種類があるかをご説明しています。

Chapter 4 : データベース／クイックアクションナビの公開

- ◆ データベースやクイックアクションナビを公開する前に
 - ・ 「公開」の状態とは？
 - ・ 「公開」の範囲を制限する
- ◆ データベースやクイックアクションナビの構成とアクセス権
 - ・ アクセス権とユーザーの種類
 - ・ アクセス権を設定する対象
 - ・ アクセス権の判定方法
- ◆ アクセス権の種類
- ◆ フォルダーの公開手順
- ◆ データベースの公開手順
- ◆ 関連要素の公開手順
- ◆ クイックアクションナビの公開手順

株式会社ジャストシステム

データベース／クイックアクションナビの公開

データベースやクイックアクションナビを公開する前に

フォルダー・データベースやクイックアクションナビは、作成した時点では非公開になっています。この状態では、フォルダー・データベース・クイックアクションナビに対する操作は、所有者と管理者にしかできません。

作成したフォルダー・データベースやクイックアクションナビをほかの人と共有し、業務で利用するためには、これからご説明する「公開」の作業が必要です。

各要素を公開する際、公開する対象や許可する操作などを設定することができます。これにより、情報の漏えいや、データを不用意に操作されてしまうことを防止することができます。

□ 「公開」の状態とは？

部署やプロジェクトなど、複数人でデータベースやクイックアクションナビを運用する場合は、作成した本人以外のユーザーも利用できるようにする必要があります。

UnitBaseでは、フォルダー・データベースやその関連要素、アクションカテゴリ・アクションメニューを「公開」という状態にすることで、同じUnitBaseのシステム上に作成しているデータベースやクイックアクションナビを、複数人で共有できるようにします。

□ 「公開」の範囲を制限する

公開したデータベースを誰もが操作できるようにすると、重要な情報が外部に漏れたり、共有情報が不用意に削除・変更されたりして、取り返しがつかなくなることも考えられます。また、利用者の業務とは無関係なアクションナビが公開されると、業務に混乱を招くことも考えられます。

このため、情報の重要度や内容、利用者の業務内容・役職などに応じて、公開する範囲を制限します。

公開の範囲はグループやユーザーの単位で設定でき、各グループやユーザーに対してアクセス権を設定することで決定します。

公開するデータベースやクイックアクションナビの内容に応じて、公開する範囲をあらかじめ検討しておくようにします。

データベース／クイックアクションナビの公開

データベースやクイックアクションナビの構成とアクセス権

データベースやクイックアクションナビを公開するために、利用するユーザーの種類や業務内容に応じて、適切なアクセス権を設定します。

□ アクセス権とユーザーの種類

UnitBaseのユーザーは、管理者と一般ユーザーの2種類に分かれています。管理者の権限を持たないユーザーは、すべて一般ユーザーとして扱われます。

一般ユーザーは、フォルダーなどを作成することで作成した内容の所有者となり、権限を持つことになります。

また、管理者や所有者から権利を付与されることで、操作できる対象や内容が増えます。

アクセス権の設定は、管理者ユーザーまたはフォルダーやデータベースなどの所有者が行うことができます。

ユーザーの種類		説明
管理者		所有の有無に関係なく、すべての内容に対してアクセス権を持ちます。 また、すべての内容に対してアクセス権を変更できます。
一般ユーザー	所有者	フォルダーやデータベース、アクションカテゴリーやアクションメニューなどを作成したユーザーです。 作成した対象に対するすべての権限を持ちます。
	非所有者	所有者以外のユーザーです。 データベースを構成する内容に対する権限は、管理者やフォルダー・データベースなどの所有者から付与されます。

アクセス権を設定する際には、個別のユーザーに設定するほか、グループに対しても設定できます。

アクセス権の設定対象	説明
グループ	一般ユーザーの場合と同様に、管理者や所有者からアクセス権を付与されることで、グループ内のユーザーに権限が付与されます。 このため、直接・間接を問わず、所属しているグループに対して付与されたアクセス権と、個人に対して付与されたアクセス権とが異なる場合があります。

データベース／クイックアクションナビの公開

データベースやクイックアクションナビの構成とアクセス権

□ アクセス権を設定する対象

■ フォルダー

管理者ユーザーかフォルダー作成権限のあるユーザーだけが作成できます。
フォルダーを作成したユーザーがフォルダーの所有者になります。

■ データベース

フォルダーの所有者、またはデータベース作成の権限が与えられたユーザーが、
フォルダーの下にデータベースを作成することができます。

■ 関連要素（レイアウト・フィルター・クロス集計・帳票）

フォルダーの所有者、データベースの所有者、関連要素作成の権限が与えられ
たユーザーが、データベースの下に関連要素を作成することができます。

■ アクションカテゴリー

管理者ユーザーかアクションカテゴリー作成権限のあるユーザーだけが作成で
きます。
アクションカテゴリーを作成したユーザーがアクションカテゴリーの所有者に
なります。

■ アクションメニュー

アクションカテゴリーの所有者、またはアクションメニュー作成の権限が与え
られたユーザーが、アクションカテゴリーの下にアクションメニューを作成す
ることができます。

データベース／クイックアクションナビの公開

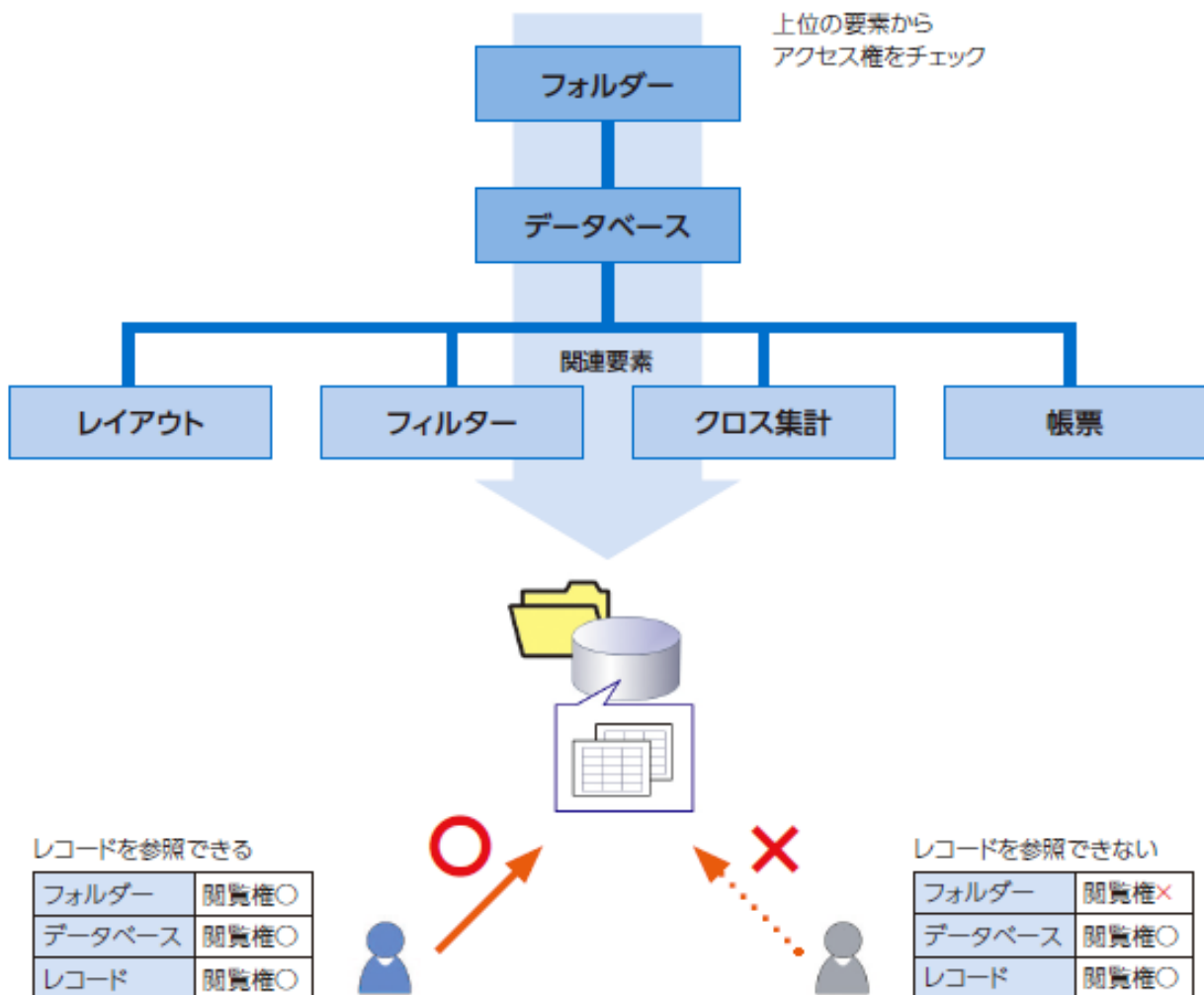
データベースやクイックアクションナビの構成とアクセス権

□ アクセス権の判定方法

アクセス権は、「フォルダー」→「データベース」→「関連要素」のように、上位の要素からチェックします。

クイックアクションナビの場合も同様に、「アクションカテゴリー」→「アクションメニュー」→「メニュー項目」と上位の要素からチェックされます。

このため、操作しようとしている上位の要素に閲覧権などのアクセス権がない場合は、下位の要素にアクセス権があっても、操作することはできません。上位の要素が公開されアクセス権がある場合に、下位の要素のアクセス権がチェックされます。



データベース/クイックアクションナビの公開

アクセス権の種類

データベースを構成する要素ごとに、アクセス権を設定することができます。ユーザーの種類に応じて、はじめから設定されているアクセス権や、アクセス権を付与することで操作できるものなどが異なります。

□ フォルダのアクセス権

フォルダは、管理者かフォルダ作成権限のあるユーザーが作成できます。自分が作成した以外のフォルダは、管理者またはフォルダの所有者からアクセス権（閲覧権）を付与されることで、利用できます。

アクセス権の種類	説明	管理者	フォルダ所有者	一般ユーザー・グループ
作成	フォルダを作成することができます。	○	—	△
閲覧	フォルダの存在を知ることができます。 各ユーザーのフォルダ一覧には、閲覧権のあるフォルダだけが表示されます。	○	○	△
更新 *1	フォルダの情報を更新することができます。	○	○	×
削除 *1	フォルダを削除することができます。	○	○	×
データベース作成	フォルダ内に、データベースを作成することができます。 フォルダの閲覧権が付与されていない場合は、 「データベース作成」の権限を付与することはできません。	○	○	△

- ：はじめからアクセス権を所有。
- △：アクセス権を付与することで操作ができる。
- ×：アクセス権の付与はできない。
- ：該当ユーザーなし。

*1 所有者と管理者が自動的に持つアクセス権です。所有者・管理者以外のユーザーに付与することはできません。また、アクセス権の設定画面も表示されません。

データベース／クイックアクションナビの公開

アクセス権の種類

□ データベースのアクセス権

UnitBaseに登録されているユーザーは、「フォルダー閲覧権」と「データベース閲覧権」の両方が付与されているときに、データベースの存在を知ることができます。

自分が作成した以外のデータベースは、管理者、またはフォルダー所有者・データベース所有者からアクセス権（閲覧権）を付与されることで、利用できます。

アクセス権の種類		説明	管理者	フォルダー所有者	データベース所有者	一般ユーザー・グループ
レコード閲覧		データベース内のレコードを参照することができます。	○	○	○	△
レコード作成		データベース内に、新しいレコードを追加することができます。 ※アクセス権の詳細設定では、[レコード新規作成] です。	○	○	○	△
レコード編集 *1	既存レコードの変更	データベース内の既存レコードを更新することができます。	○	○	○	△
	既存レコードの削除	データベース内の既存レコードを削除することができます。	○	○	○	△
データベース閲覧		データベース一覧に表示され、データベースの内容を参照することができます。	○	○	○	△
データベース削除 *2		データベース自身を削除することができます。	○	○	○	×
データベース更新 *2		データベース内の内容を更新することができます。	○	○	○	×
関連要素作成		データベース内に、関連要素（フィルター・クロス集計・レイアウト）を作成することができます。	○	○	○	△

○：はじめからアクセス権を所有。

△：アクセス権を付与することで操作ができる。

×：アクセス権の付与はできない。

*1 レコード編集権は、ログインユーザーが該当するいくつかのアクセス権を設定した結果、参照できるレコードに対して適用されます。

*2 所有者と管理者が自動的に持つアクセス権です。所有者・管理者以外のユーザーに付与することはできません。また、アクセス権の設定画面も表示されません。

データベース／クイックアクションナビの公開

アクセス権の種類

□ 関連要素のアクセス権

UnitBaseに登録されているユーザーは、「フォルダー閲覧権」・「データベース閲覧権」・「関連要素閲覧権」のすべてが付与されているときに、関連要素の存在を知ることができます。

自分が作成した以外の各関連要素は、管理者、またはフォルダー所有者・データベース所有者・関連要素所有者からアクセス権（閲覧権）を付与されることで、利用できます。

アクセス権の種類	説明	管理者	フォルダー所有者	データベース所有者	関連要素所有者	一般ユーザー・グループ
閲覧	フィルター・クロス集計・レイアウト・帳票の各一覧に表示され、それぞれの内容を参照することができます。	○	○	○	○	△
更新 *1	フィルター・クロス集計・レイアウト・帳票の内容を更新することができます。	○	○	○	○	×
削除 *1	フィルター・クロス集計・レイアウト・帳票を削除することができます。	○	○	○	○	×

○：はじめからアクセス権を所有。

△：アクセス権を付与することで操作ができる。

×：アクセス権の付与はできない。

*1 所有者と管理者が自動的に持つアクセス権です。所有者・管理者以外のユーザーに付与することはできません。また、アクセス権の設定画面も表示されません。

データベース／クイックアクションナビの公開

アクセス権の種類

□ アクションカテゴリーのアクセス権

アクションカテゴリーは、管理者ユーザーがアクションカテゴリー作成権限のあるユーザーだけが作成できます。

自分が作成した以外のアクションカテゴリーは、管理者またはアクションカテゴリーの所有者からアクセス権（閲覧権）を付与されることで、利用できます。

アクセス権の種類	説明	管理者	アクションカテゴリー所有者	一般ユーザー・グループ
作成	アクションカテゴリーを作成することができます。	○	－	△
閲覧	アクションカテゴリーの存在を知ることができます。 各ユーザーのアクションカテゴリー一覧には、閲覧権のあるアクションカテゴリーだけが表示されます。	○	○	△
更新 *1	アクションカテゴリーの情報を更新することができます。	○	○	×
削除 *1	アクションカテゴリーを削除することができます。	○	○	×
アクションメニュー作成	アクションカテゴリー内に、アクションメニューを作成することができます。 アクションカテゴリーの閲覧権が付与されていない場合は、[アクションメニュー作成]の権限を付与することはできません。	○	○	△

○：はじめからアクセス権を所有。

△：アクセス権を付与することで操作ができる。

×：アクセス権の付与はできない。

－：該当ユーザーなし。

*1 所有者と管理者が自動的に持つアクセス権です。所有者・管理者以外のユーザーに付与することはできません。また、アクセス権の設定画面も表示されません。

データベース／クイックアクションナビの公開

アクセス権の種類

□ アクションメニューのアクセス権

UnitBaseに登録されているユーザーは、アクションカテゴリー閲覧権とアクションメニュー閲覧権の両方が付与されているときに、アクションメニューの存在を知ることができます。

自分が作成した以外のアクションメニューは、管理者、またはアクションカテゴリー所有者・アクションメニュー所有者からアクセス権（閲覧権）を付与されることで、利用できます。

アクセス権の種類	説明	管理者	アクションカテゴリー所有者	アクションメニュー所有者	一般ユーザー・グループ
作成	アクションメニューの存在を知ることができます。各ユーザーのアクションメニュー一覧には、閲覧権のあるアクションメニューだけが表示されます。	○	○	○	△
更新 *1	アクションメニューの情報を更新することができます。	○	○	○	×
削除 *1	アクションメニューを削除することができます。	○	○	○	×
メニュー項目作成・更新	アクションメニュー内にメニュー項目を作成したり、メニュー項目の内容を更新したりすることができます。 アクションメニューの閲覧権が付与されていない場合は、[メニュー項目作成・更新]の権限を付与することはできません。	○	○	○	△

○：はじめからアクセス権を所有。

△：アクセス権を付与することで操作ができる。

×：アクセス権の付与はできない。

*1 所有者と管理者が自動的に持つアクセス権です。所有者・管理者以外のユーザーに付与することはできません。また、アクセス権の設定画面も表示されません。

データベース／クイックアクションナビの公開

アクセス権の種類

□ レコード閲覧範囲の指定

データベースに対してレコード閲覧範囲を設定すると、グループやユーザーによってレコードの閲覧を制限した運用をすることができます。
例えば、通常のユーザーは自分が作成したレコードだけを閲覧でき、管理グループに属するユーザーだけがすべてのレコードを閲覧できるように、設定することができます。

レコード閲覧範囲は、次の中から選択できます。

選択項目	説明
全レコードの閲覧が可能	データベース内のすべてのレコードが閲覧できます。 ※データベースの参照権が設定された場合、初期値としてこの設定が指定されます。
自分で作成/更新したレコードのみが閲覧可能	ユーザー自身がデータベースに作成・更新したレコードだけが、閲覧できる対象となります。
下の条件に合ったレコードのみが閲覧可能	指定された絞込条件に適合するレコードだけが閲覧できます。 ※［作成者／更新者自身のレコードは常に表示］をオンにすると、ユーザーがレコードを更新した結果、値が絞込条件に合わなくなったときも、そのレコードを閲覧できます。

また、決裁データベースの場合は次の項目を個別に指定できます。

選択項目	説明
自分が決裁開始通知の送信先に含まれるレコードについては決裁開始後に閲覧可能にする	決裁レコードの決裁開始通知の送信先に指定されているユーザーは、決裁開始にそのレコードを閲覧できるようになります。
自分が決裁承認完了通知の送信先に含まれるレコードについては承認完了後に閲覧可能にする	決裁レコードの決裁承認完了通知の送信先に指定されているユーザーは、決裁承認完了後にそのレコードを閲覧できるようになります。
自分が申請者や決裁者でない決裁中レコードの閲覧を可能にする	自分が申請者や代理申請者、決裁者や代理決裁者でないレコードでも、決裁中のレコードを閲覧できるようにします。 業務で1件の決裁が必要なときに、関与する複数のメンバーが同時に申請することを防止するために利用します。

データベース/クイックアクションナビの公開

フォルダーの公開手順

データベースを複数人で共同利用するには、まずデータベースが保存されているフォルダーを公開の状態にします。

フォルダーのメニューから
[公開] を選択

[公開する] にチェック

[グループ/ユーザーの追加]
ボタンをクリック

アクセス権を設定するグループ、または
ユーザーを選択して [OK] クリック

選択中: 情報システム部(3)

データベース/クイックアクションナビの公開

フォルダーの公開手順

フォルダー情報

情報 公開

☒ 公開する [? アクセス権について](#)

アクセス権

+ グループ/ユーザーの追加 - 取込/出力 ▼

グループ/ユーザー	フォルダー	
サンプルグループ	閲覧	データベース ▼ 作成不可 ✓ 作成不可 作成

フォルダー内への自由なデータベース作成を許可するか許可しないかを設定

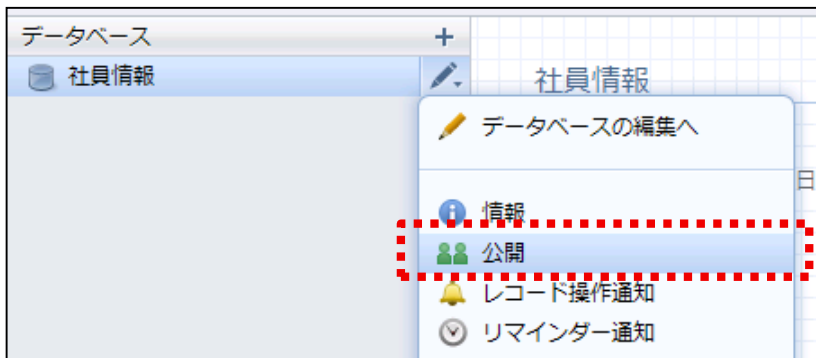
OK キャンセル

[OK] をクリックして反映

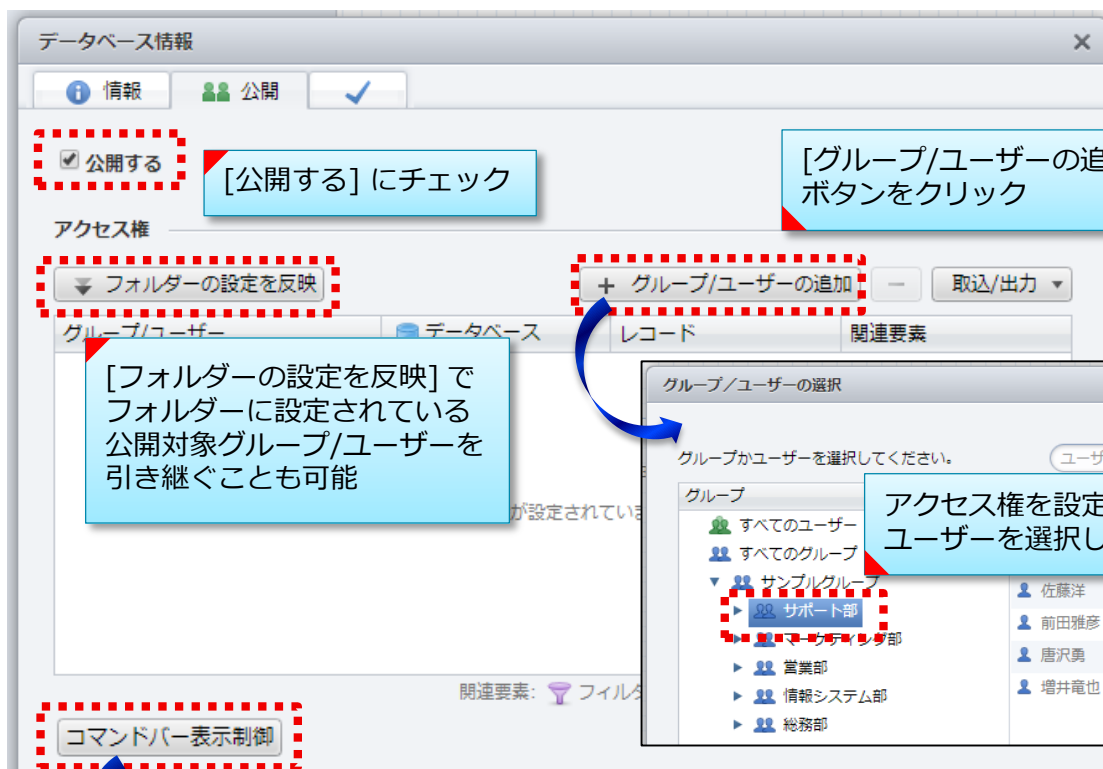
データベース/クイックアクションナビの公開

データベースの公開手順

データベースの参照や、レコードの登録・編集ができるように、データベースを公開の状態にします。



データベースのメニューから
[公開] を選択

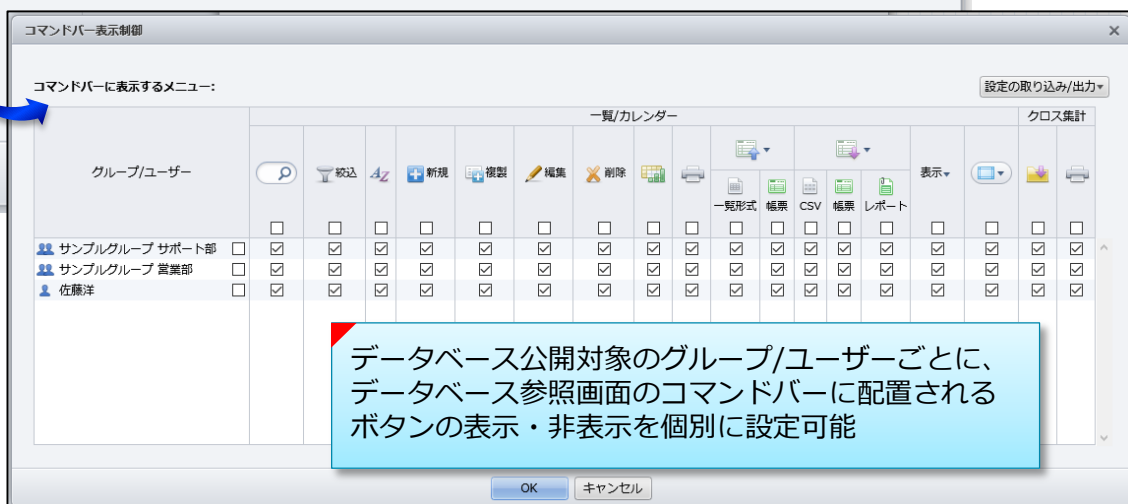


[公開する] にチェック

[グループ/ユーザーの追加]
ボタンをクリック

[フォルダーの設定を反映] で
フォルダーに設定されている
公開対象グループ/ユーザーを
引き継ぐことも可能

アクセス権を設定するグループ、または
ユーザーを選択して [OK] クリック



データベース公開対象のグループ/ユーザーごとに、
データベース参照画面のコマンドバーに配置される
ボタンの表示・非表示を個別に設定可能

データベース／クイックアクションナビの公開

データベースの公開手順

アクセス権

▼ フォルダの設定を反映

+ グループ/ユーザーの追加

グループ/ユーザー

データベース

レコード

関連要素

サンプルグループ 総務部

閲覧

▼ 閲覧

▼ 作成不可

✓ 閲覧

閲覧 / 作成 / 編集

詳細設定

グループ/ユーザーごとにレコードのアクセス権を適切に設定

レコードのアクセス権 詳細設定

許可するアクセス権にチェックを入れてください。

レコードのアクセス権

☒ レコード閲覧

☐ 全レコードの閲覧が可能

☐ 自分で作成/更新したレコードのみが閲覧可能

☐ 下の条件に合ったレコードのみが閲覧可能

条件変更...

☐ レコード新規作成

☐ レコード編集

☐ 既存レコードの変更

☐ 既存レコードの削除

☐ 全レコードの変更が可能

☐ 自分で作成/更新したレコードのみが変更可能

☐ 下の条件に合ったレコードのみが変更可能

条件変更...

☐ 全レコードの削除が可能

☐ 自分で作成/更新したレコードのみが削除可能

☐ 下の条件に合ったレコードのみが削除可能

条件変更...

※他のアクセス権設定を含めてユーザーが最終的に閲覧できるレコードが対象になります

OK

キャンセル

[詳細設定] を選択することでレコードのアクセス権を細かく制御することが可能

グループ/ユーザー

サンプル 総務部

閲覧

▼ 閲覧

関連要素

▼ 作成不可

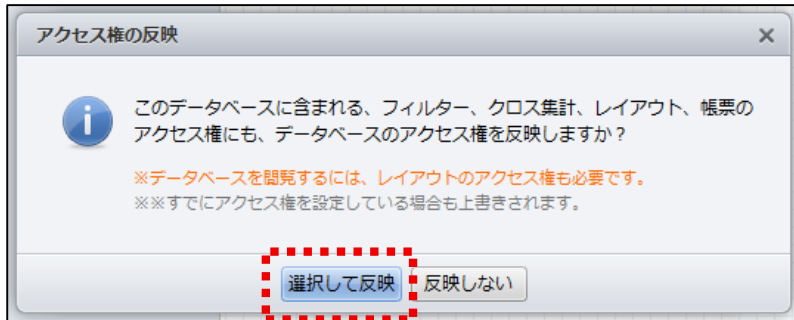
✓ 作成不可

作成

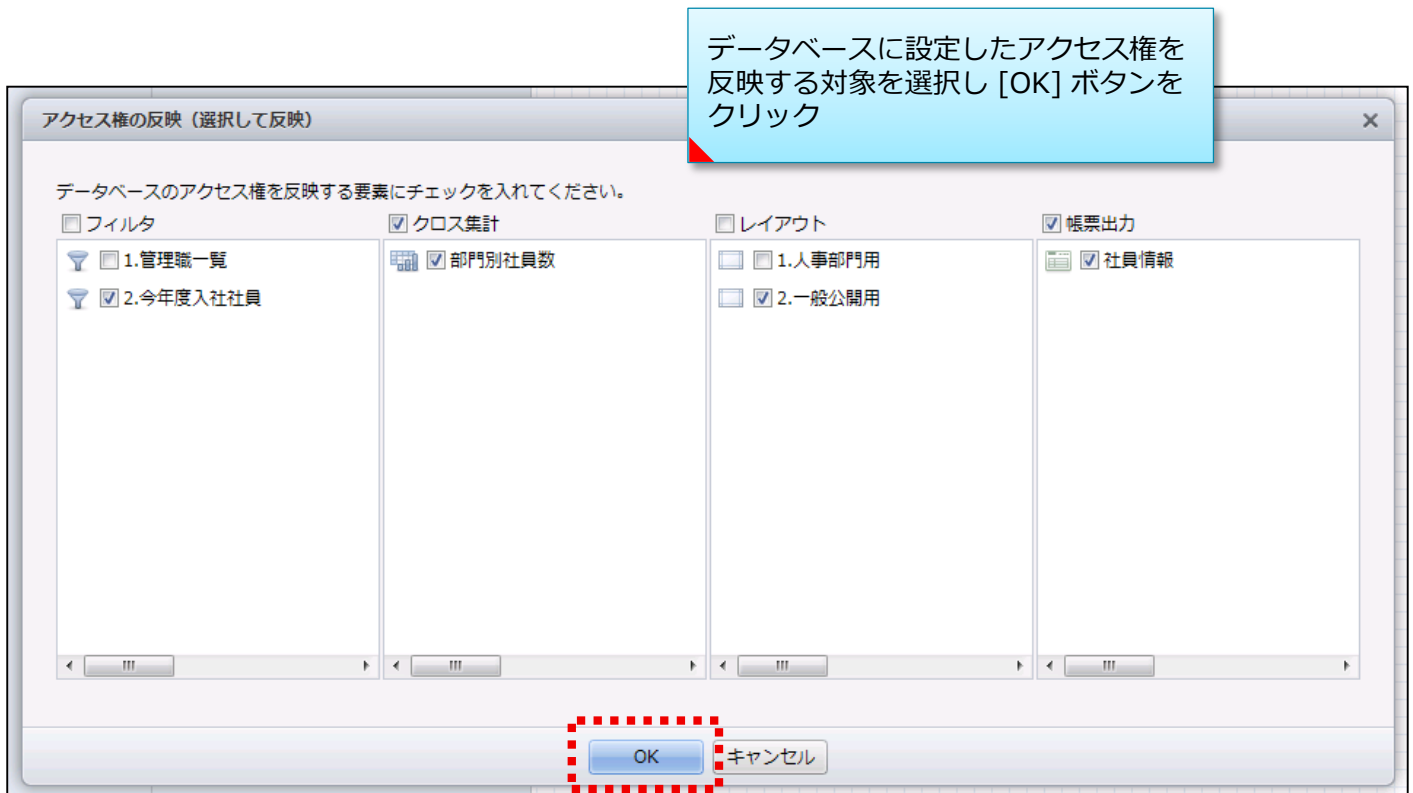
関連要素（フィルター・クロス集計・レイアウト・帳票）の作成権限を設定

データベース/クイックアクションナビの公開

データベースの公開手順



データベースの公開設定を [OK] で確定すると、データベースに含まれる関連要素にデータベースのアクセス権を反映するか確認するメッセージが表示されるので、[選択して反映] をクリック



データベースに設定したアクセス権を反映する対象を選択し [OK] ボタンをクリック

以上の操作により、フォルダ・データベース・関連要素をグループ/ユーザーに公開できます。

ここでは関連要素の公開対象をデータベースの公開対象から引き継いで一括で設定しましたが、関連要素それぞれに対して個別に公開対象を設定することも可能です。次のページで説明します。

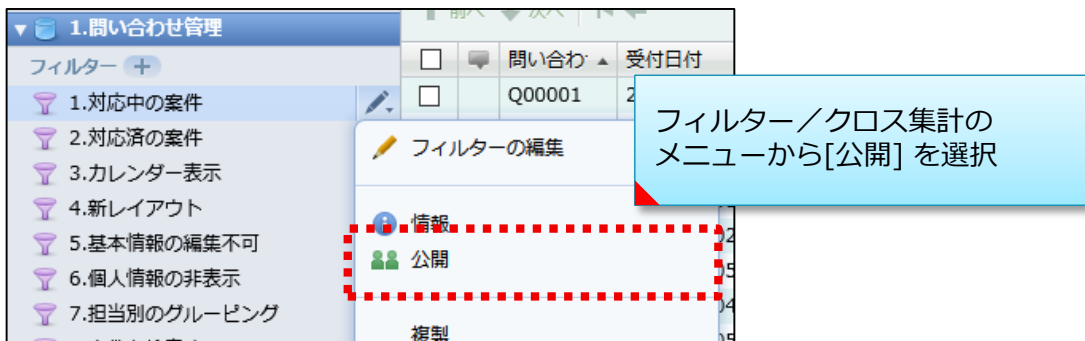
データベース／クイックアクションナビの公開

関連要素の公開手順

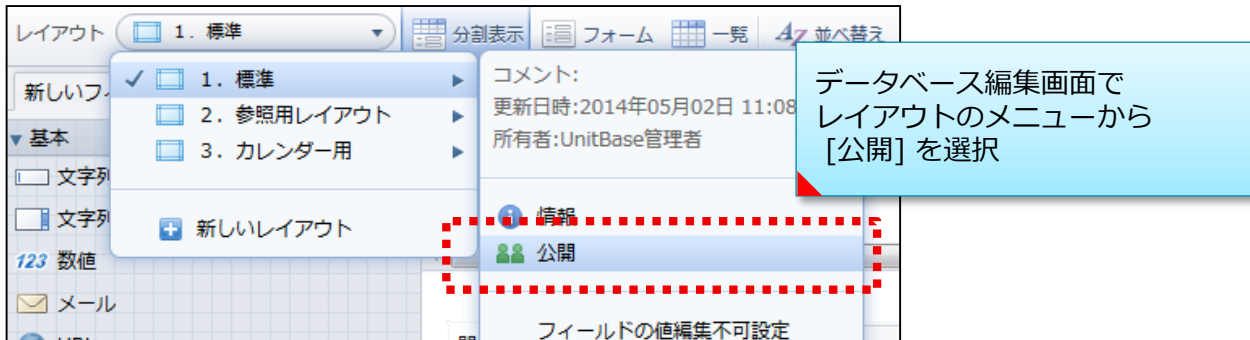
フィルター・クロス集計・レイアウト・帳票には、それぞれ個別に公開設定を行い、異なるアクセス権を付けることができます。

例えば「あるレイアウトは特定のグループのみに公開する」など、情報の公開範囲をより細かく制御することができます。実例は次章でご説明します。

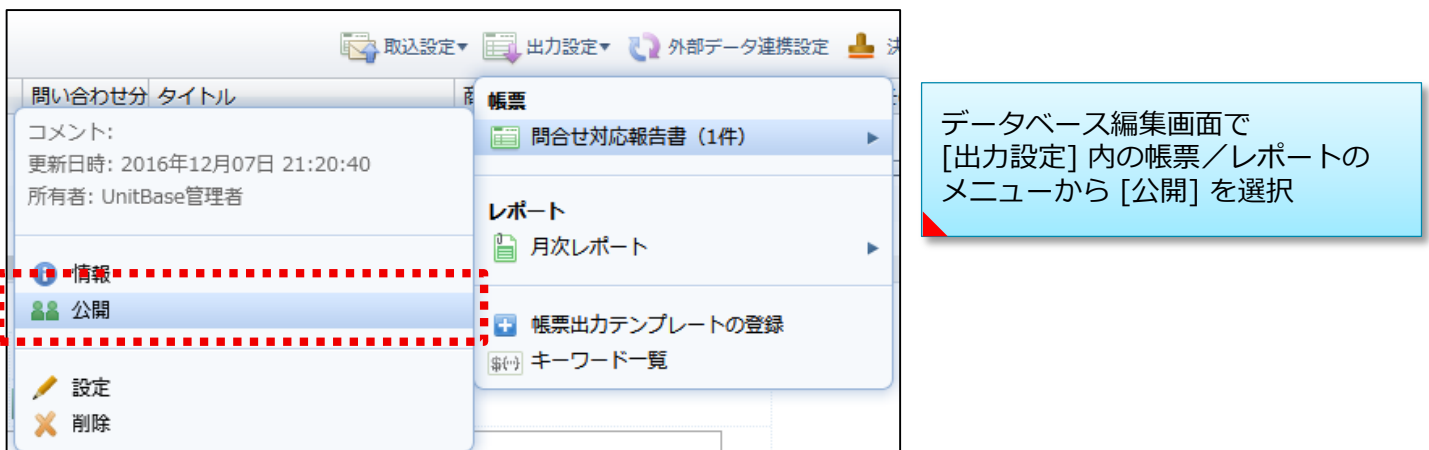
□ フィルター／クロス集計



□ レイアウト



□ 帳票／レポート

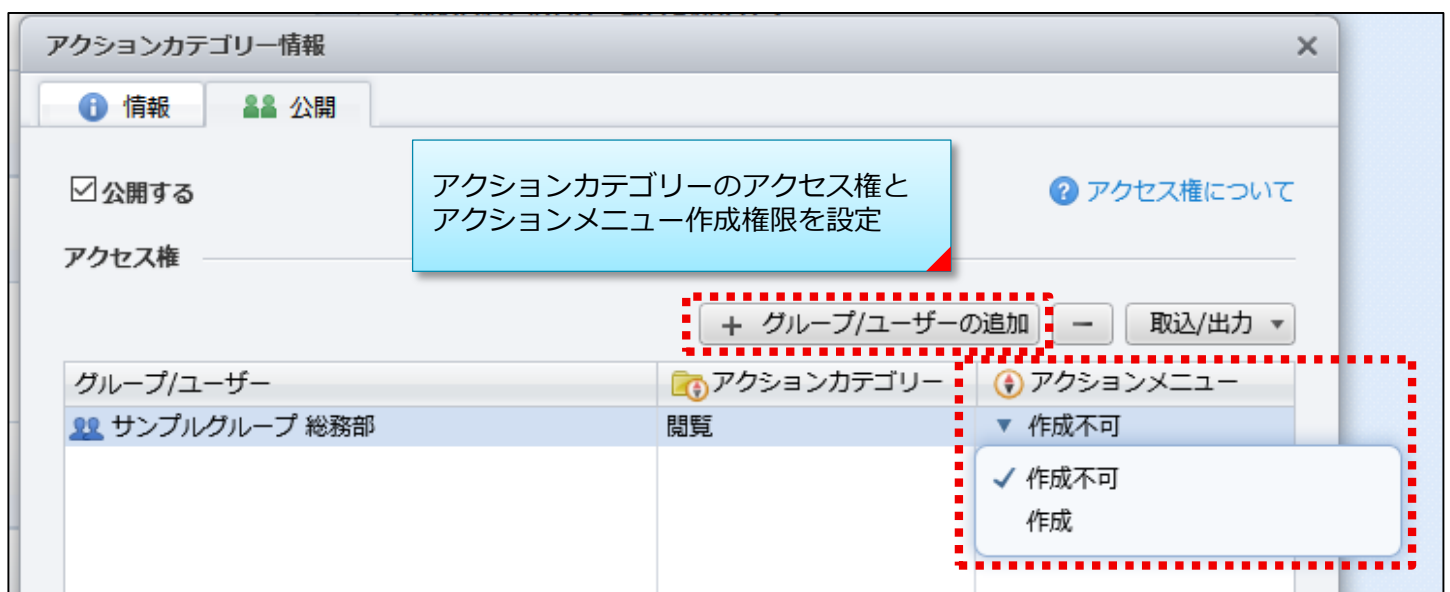


データベース/クイックアクションナビの公開

クイックアクションナビの公開手順

クイックアクションナビの公開手順も、フォルダー・データベースの公開手順と同様です。

アクションカテゴリー → アクションメニュー の順に公開対象を設定します。



データベース／クイックアクションナビの公開

クイックアクションナビの公開手順

アクションメニュー

新しいアクションメニュー

営業部

サポート部

登録メニュー

社員登録

アクションメニューのメニューから
[公開] を選択

メニュー項目の編集

情報

公開

複製

削除

アクションメニュー情報

情報 公開

☒ 公開する

アクセス権

アクションメニューのアクセス権と
メニュー項目の作成権限を設定

アクションカテゴリーに設定した
アクセス権を引き継ぐことも可能

アクションカテゴリーの設定を反映

+ グループ/ユーザーの追加 - 取込/出力

グループ/ユーザー	アクションメニュー	メニュー項目
サンプルグループ 総務部	閲覧	- 閲覧 ☒ 閲覧 - 閲覧 / 作成 / 編集



- ✓ クイックアクションナビの利用には、アクションメニューで操作対象に設定されているデータベースと、そのデータベースが含まれているフォルダーに適切な公開設定が行われている必要があります。
フィルターなどを呼び出すアクションメニューを作成されている場合はその対象にも同様に適切な公開設定が必要です。